

10月~	セメスター開始
10月1日	第4期生 開講式・ガイダンスを実施
10月11日~12日	第2回異分野交流フォーラムを実施
10月16日~17日	第10回ショートフィールドビジットを実施
10月20日~22日	短期フィールドワーク報告会を実施
10月24日·25日	博士課程教育リーディングプログラム フォーラム 2015 に参加
10月26日	第6回フェニックスリーダー育成 プログラムセミナーを実施
11月1日	未来博士3分間コンペティション2015を共催
11月2日	短期インターンシップ報告会を実施
11月6日	第4回大学院生連絡会、 キャリアポートフォリオ説明会を実施
11月12日	平成 27 年度第2回フェニックス リーダーシップセミナーを実施
11月18日	第2回ランチミーティングを実施
11月	入試説明会を実施 ・19日: 東広島キャンパス ・20日: 霞キャンパス ・26日: 福島会場 ・28日: 東千田キャンパス
12月3日	第7回教育セミナーを実施
12月5日~6日	第11回放射線モニタリングに係る 国際ワークショップに参加 (㈱千代田テクノル主催)
12月22日~ 1月7日	平成28年度10月入学 出願期間
1月8日~9日	第6回リトリート、 第5回教員学生意見交換会を実施
1月12日	第7回フェニックスリーダー育成 プログラムセミナーを実施
1月18日	第8回フェニックスリーダー育成 プログラムセミナーを実施
1月21日	第9回フェニックスリーダー育成 プログラムセミナーを実施

10月1日 ▶ 第4期生 開講式・ガイダンスを実施

広島大学大学院博士課程リーダー育 成プログラムでは、「放射線災害復興を推 進するフェニックスリーダー育成プログラ ム」と「たおやかで平和な共生社会創生プ ログラム」の両プログラムが合同で開講式



を行い、本プログラムでは4人の新入生を迎えました。

越智学長は式辞の中で、「これから5年間の一貫教育で、グ ローバルリーダーとして国際的に活躍できるよう学業に励んでく ださい。」と、激励の言葉を贈りました。

開講式の後には、ガイダンスを 行い、プログラム責任者からの歓 迎の言葉、新入生の自己紹介に 続き、履修における諸連絡等を行 いました。





10月16日 ~ 17日

第 10 回ショートフィールドビジットを 実施

本プログラム入学早期に、放射線災害の現実を知り、分野横断 型アプローチの重要さを実感することを目的として実施した第10 回ショートフィールドビジットは、16日の夕方に参加者全員が福島 に集まり、事前学習ためのオリエンテーションを行いました。

17日には、はじめに飯舘村で除染 現場や仮設置き場等を見学し、相馬 港では東日本大震災による津波被害 からの復旧と更なる発展に向けての事 業について見学しました。午後からは 南相馬市立総合病院において、震災 直後から現在までの南相馬市の医療 面での現状や課題等について学習す るとともに、ホールボディカウンタを用 いた内部被ばく検査現場を見学しまし た。その後、太田川河口では、津波被 害の影響等を見学しました。



行程終了後には振り返りを行い、学 生からは、「福島県に来たことはあった けれども、いまだに残る津波被害の現 状や放射線の線量等について初めて 自分の目で見る機会を得て有益だっ 見学





た。」、「前日のオリエンテーションで、1年前や2年前の写真を見 たうえで行程に参加したことで、以前の状況と現状を比較するこ とが出来た。」などのコメントがありました。

2日間の見学等を通して、放射線災害復興におけるグローバル リーダーを目指すためには分野横断的学習が重要であることを改め て認識し、プログラム新入生にとって非常に貴重な機会となりました。

10月26日

第6回フェニックスリーダー育成 プログラムセミナーを実施

学生が幅広い知識を習得するための「分野融合セミナー」の一 環として、広島大学大学院国際協力研究科と協定校のテキサス 大学オースティン校 The LBJ School of Public Affairs より 支援を受け、7月6日~8月5日までの夏期研修(2015 Public Management and Leadership Program および2015 Politics and Policy Program)に、たおやかプログラムの教職員とともに当プロ グラム所属学生が1名参加し、広島大学より合計4名が参加しま した。

そして、10月26日のフェニック スプログラムとたおやかプログラ ムが共催した今回のセミナーで は、研修参加者の一人であるDr. Luni Piyaによる講義に続き、3名 東広島キャンパスのセミナー風景 の研修参加者がそれぞれ学んだ 内容を報告し、研修の成果をプロ グラム所属学生と共有しました。

なお、当日は広島市と東広島 市のキャンパスをテレビ会議シス



テムで結び、フェニックスプログラ テレビ会議を通じてセミナーに参加

ム所属学生8名、たおやかプログラム14名、その他学生8名、教 職員10名の計40名が参加しました。

平成27年度第2回フェニックス リーダーシップセミナーを実施

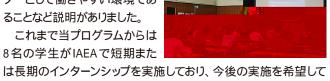
学生が修了後の進路を検討するうえで参考にしてもらうために さまざまな分野のリーダーを講師に迎えリーダーシップセミナーを 開催しています。

今回は、国際原子力機関(IAEA)Division of Human Health の部門長であるDr. May Abdel-Wahabを招いて「国際機関で求めら れるリーダーシップ」と題して開催しました。

講師の医師・研究者としての経験から、研究者としての心構えや リーダーの人材像について、参加者とのインタラクティブな議論が 行われました。国際機関での業務については、多様な背景と専門 性を持つチームで合意形成することの難しさがある一方で、科学 者として政策決定に関わる等、臨床医と比較すればより多くの人 に影響を与えることができることや、職場としてはトレーニングや待

遇も充実しており、女性もリー ダーとして働きやすい環境であ

これまで当プログラムからは



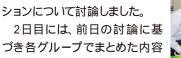
いる学生も熱心に議論に参加しました。参加者からは幅広い内容 の情報を得ることができた、また、他の参加者の意見を聞くことが できてよかったという意見が聞かれました。

~9日

第6回リトリート、 第5回教員学生意見交換会を実施

プログラム学生、教職員の合計38名が参加して、寝食を共にし ながら、学際的な広い視野でこれまでの学修の成果及び今後の 課題を確認する第6回リトリートを広島市国際交流会館において 開催しました。

はじめに出口博則学生生活委 員会委員長から開会挨拶があ り、その後5グループに分かれて、 2月に開催予定の国際シンポジ ウムのテーマやパネルディスカッ ションについて討論しました。





を発表し、専門分野や学年が異グループ討論

なるプログラム学生が意見を交換し共同作業する機会となりまし た。その後、第5回学生教員意見交換会を開催し、活発な意見交 換を行いました。

最後に神谷研二プログラム責任者から、「今回のリトリートは 学生にとってグローバルリーダーとしての発信力を向上させる良い 機会となった。」と挨拶がありました。



1月18日

第8回フェニックスリーダー育成 プログラムセミナーを実施

講師として福島県立医科大学災害こころの医学講座の前田正 浩教授をお迎えし、第8回フェニックスリーダー育成プログラムセ ミナー「放射線災害時における Crisis Communication とメンタル ヘルス」を開催しました。

本セミナーは、プログラムの授業科目等を広島大学内へ公開 することにより、本プログラムの取組みを広く周知し理解を深めて

もらうことを目的として開催し ています。

会場にはプログラム履修学 生はもちろん、プログラム外か らの参加もあり、約20名が参



加し活気にあふれたセミナーとなりました。

セミナーでは前田先生から、放射線災害発生後の住民や医療 関係者等における、不安や恐怖心に対する研究の知見について、 また、被災者に対するアンケート調査の結果等について説明があ りました。質疑応答では、「阪神淡路大震災発生後と今回の福島 事故後のメンタルヘルス状況の違い」等について議論が行われる 場面もあり、参加者にとって非常に充実したセミナーとなりました。